



横田伸也「通り過ぎた風景」1974年 豊田市美術館蔵

「通り過ぎた風景」—画家・横田伸也(1941年、東京生まれ)は自身の作品に、そして多くの個展にこの言葉を付してきました。画家の過去最大の回顧展となる本展もそれになっています。焼け野原の、そしてそこから復興する東京の街。1975年に赴任した愛知県立芸術大学のまわりのようやく開発が進む郊外。横田はそうした身近な、変化し続ける景色を出発点に、西洋絵画の技法を用いながら同時にやまと絵や山水画など日本をはじめとする東洋の絵画のエッセンスを取り入れた独自の絵画を描き、それを「通り過ぎた風景」と呼びました。一見穏やかながら実のところ革新的なその絵画は、継続して制作に向かうその姿勢とともに、彼が長く教育に携わったこともあり、現代の美術家たちにも大きな影響を与えています。近年、1970年前後に盛んに議論された「風景論」がにわかに注目を集め、また、今日の加速度的に変化する世界においてその遠近を適切に結ぶ「山水」のイメージの重要性が語られるなど、風景を軸に横田が20世紀後半から手掛けてきたその作品を振り返るべき時機がきているといえます。本展では1960年代から2026年の最新作まで作品約120点に初出の資料を交えて、描き続ける画家・横田伸也の歩みを振り返り、彼の「風景」と「絵画」がいかなるものなのか、そこから私たちは何を汲み取ることができるのか、あらためて見つめ直します。

通り過ぎた 風景 横田伸也

Hitsuda Nobuya: Scenes Passed by

2026年4月4日[土]—6月21日[日] 豊田市美術館

開館時間：午前10時—午後5時30分(入場は午後5時まで) | 休館日：月曜日(6月4日は開館)

主催：豊田市美術館 | 協力：KAYOKOYUKI

[観覧料]

当日窓口販売 一般1,300円/高校・大学生900円/中学生以下無料

オンライン販売 一般1,100円/高校・大学生700円/中学生以下無料

・前売券及び20名以上の団体は当日窓口料金から200円割引

・前売券の詳細、その後観覧料の減免対象者及び割引率については、当館ウェブサイトをご確認ください。

オンラインチケット

ご購入はこちらから



Toyota
Municipal
Museum
of Art

豊田市美術館

